

# 「侵略やめろ」各地で抗議

## 黒い衣装を着て犠牲者を悼む

### 東京・ロシア大使館前

ウクライナ侵略に抗議する市民が9日、犠牲者を悼む黒い衣装を身に著け、東京都港区のロシア大使館前に立ちました。主催は武蔵

取引反対ネットワーク。ロシアでは、この日は第2次世界大戦でナチス・ドイツに勝った

「戦勝記念日」です。国内で軍事パレードが行われました。抗議行動の参加者は「侵略やめろ」「殺す

な」などのメッセージを掲げ、無言で訴えました。「戦争やめろ」と書いたプラカードを持った若手義勇隊さん(56)は「フーチン大統領のウクライナ侵略で多くの人が亡くなっているのに、戦勝のパレードには納得がいき

ません」と話します。

同ネットワーク代表の杉原浩司さんは、ロシア国内での反戦活動にふれ、「可烈な弾圧のもとでの勇気に連帯したい。ウクライナへの侵略は、世界の市民にとっても絶対に許すことができない」と述べました。

参加者は「ただちに停戦」「核を使うな」「核やめろ」などコ



抗議行動の参加者9日、東京都港区



ウクライナ侵襲の女性を訴え参入した9日、札幌市

ールしながら、大使館の近くを歩きました。市民有志が集会11週連続で開催

### 札幌駅前

「ロシアはウクライナ侵略を止めて、撤退をと。市民有志が8日、札幌駅前11週連続の抗議集会を開き、180人が駆け付けました。「命が平等に扱われる世界へ、みんなで届けよう平和の願い」「フーチンを止める」と思い思いのプラカードで、道行く人にアピールしました。

「こんな場所です声を上げて」と冷ややかな人もいますが、フーチンのような前例をつくってはいけません。

一人の声でも必ず共同が広がり、戦争を止め

る力になります。だから諦めません」と意気込む青年は、研修医ら医療従事者の3人組。自分は無力と感じて参加していたけど、この場所に来ると勇気をもらえます」と言います。

ウクライナ出身の女性、抗議集会の場に感謝を述べ、「戦争はまだ終わりません。実情をもっと広く伝えていってほしい」と呼びかけました。

勤医協札幌病院の厚形和泰院長がウクライナの公衆衛生問題や、感染症の拡大、薬の不足、原発や化学物質を扱う工場への攻撃の危険性を警告しました。

「戦争させない市民の風・北海道」の山口たか共同代表が参加しました。